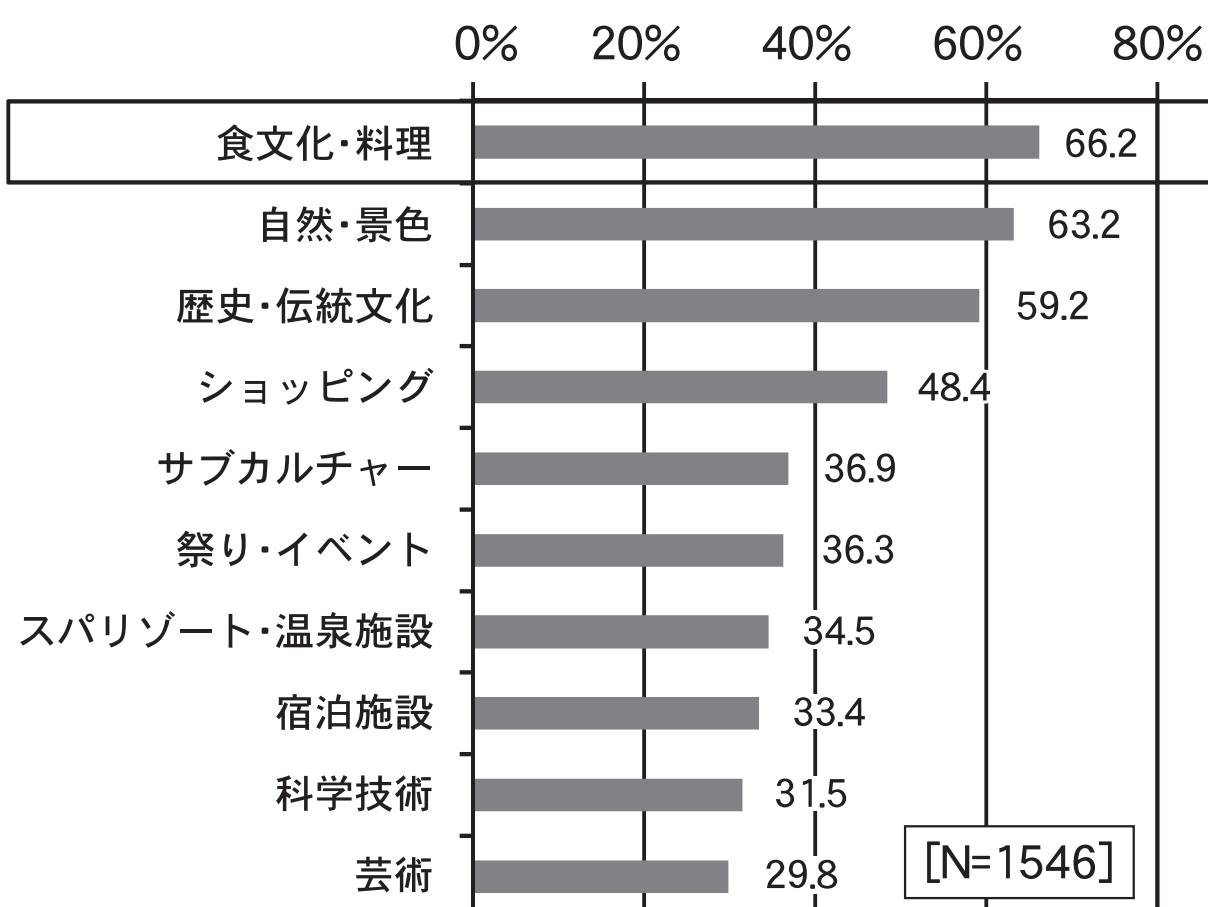
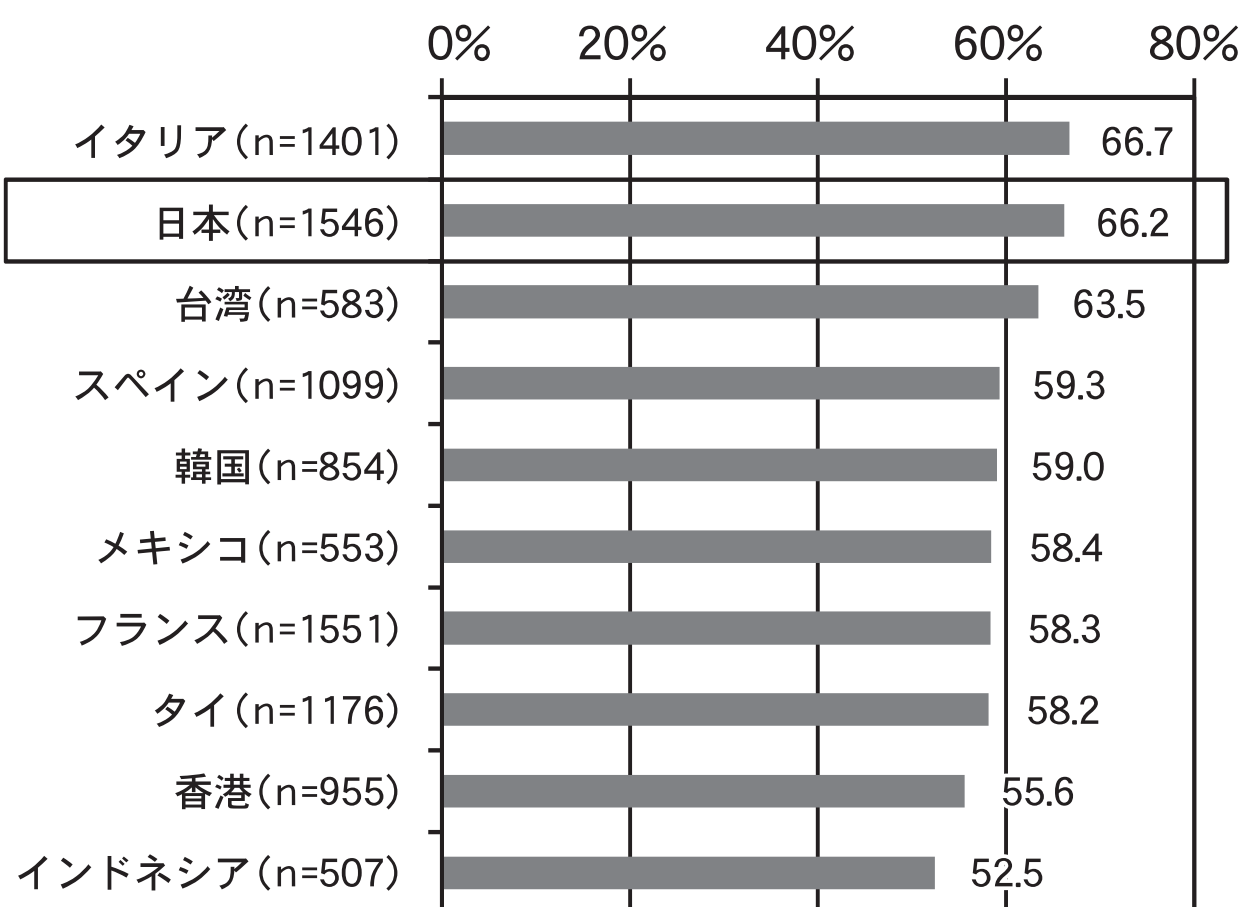


日本能率協会総合研究所「世界20ヵ国・地域インバウンド調査」

【日本の魅力・TOP10(複数選択)】



【「食文化・料理」が魅力の上位国・TOP10】



和食の魅力 海外に浸透

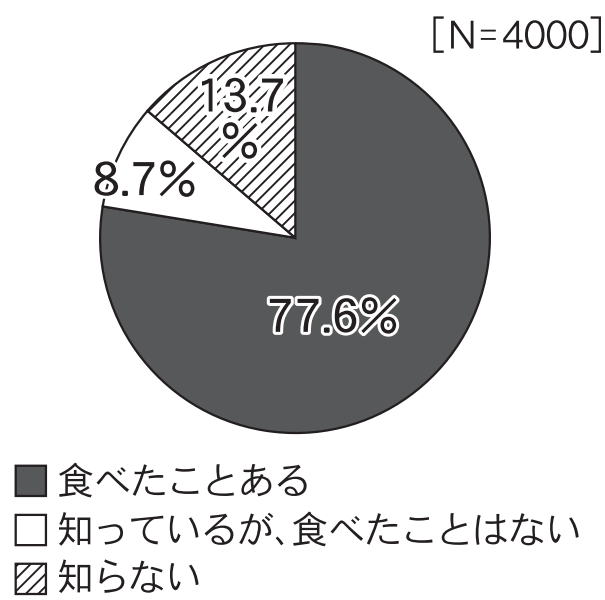
日本能率協会総合研究所(東京都港区)は10月2日、「世界20ヵ国・地域インバウンド調査」の結果をまとめ、公表した。訪日動機が最も上位だったのは「食文化・料理」で回答者の7割近くに達し、和食の魅力が海外に浸透していることが裏付けられた。

調査は、20ヵ国・地域に住み、3年以内に宿泊を伴う海外旅行を行った人、または今後3年以内に行きたい人4千人(2000人×20ヵ国・地域)を対象に4月17日から5月18日まで、インターネットで実施した。

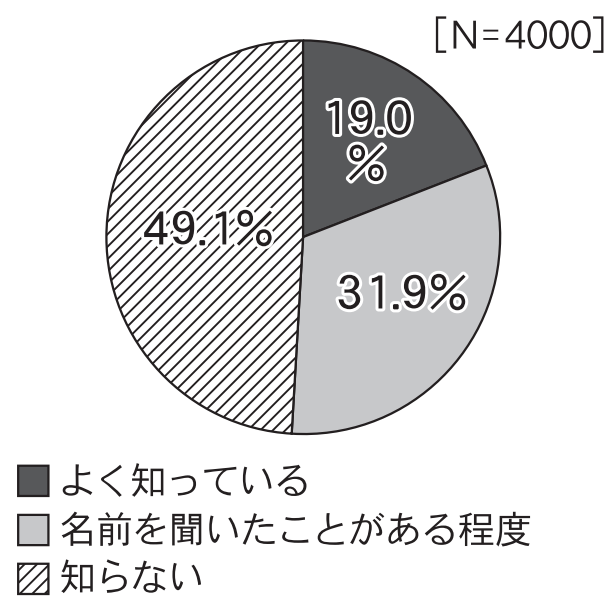
外国人の訪日旅行動機で最も上位

調査データ

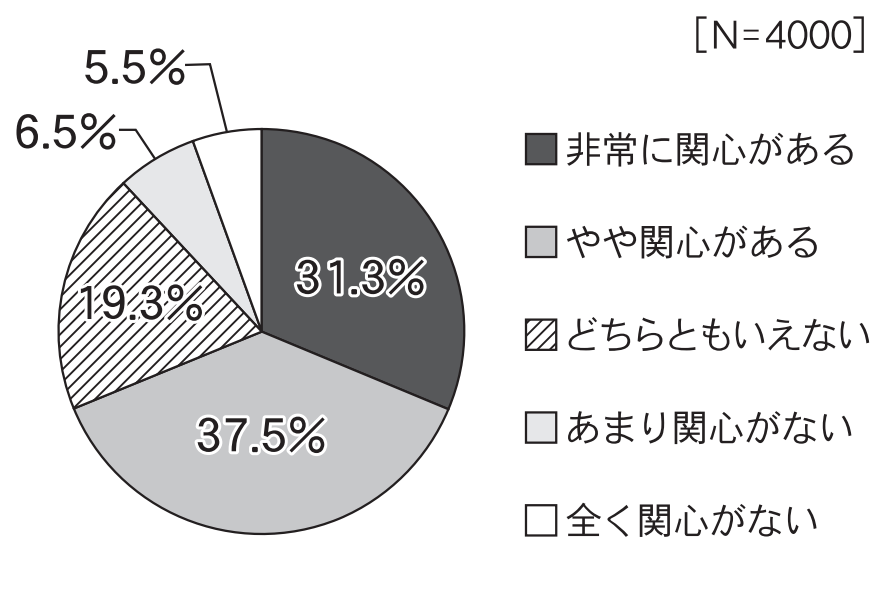
【「和食」の喫食経験】



【無形文化遺産登録の認知度】



【「和食」への関心度】



【「和食」のイメージ(複数選択)】

